

神河町 地籍調査事業

『想定事故』事例集

【目 次】

[危険箇所]	(頁)
①[普通には歩けない急斜面]	(1)
②[岩や倒木が多く、歩きにくい山]	(1)
③[壁のような急斜面(傾斜度 45 度以上)①]	(2)
④[急斜面②]	(2)
⑤[急斜面③]	(3)
⑥[急斜面④]	(3)
⑦[シダの群生・倒木・急斜面・ヒル]	(3)
⑧[シダの群生(高さ約2m)]	(4)
⑨[苔などで滑りやすい ^{なめらいし} 滑石]	(4)
⑩[小川の中の浮き石]	(5)
⑪[倒木]	(5)
⑫[鹿柵用ネット①]	(6)
⑬[鹿柵用ネット②]	(6)
⑭[イバラ①]	(6)
⑮[イバラ②]	(6)
⑯[岩山]	(7)
⑰[落差のある崖]	(7)
⑲[枝の跳ね返り]	(7)
⑳[枯木]	(7)

【普通には歩けない急斜面】



【壁のような急斜面(傾斜度45度以上)①】



【想定される事故】

- ・急斜面が続き、体調不良(熱中症、呼吸困難)。[対策:マイペースで。適宜休憩を取る。]
- ・枯れ枝に足が引っかかり転倒。[対策:しっかり足を上げて登る。杖を使いバランスを取る。]
- ・長靴で登山中、滑り落ち、掌を裂傷。[対策:スパイク付きの足袋や長靴を着用する。]

【急斜面②】



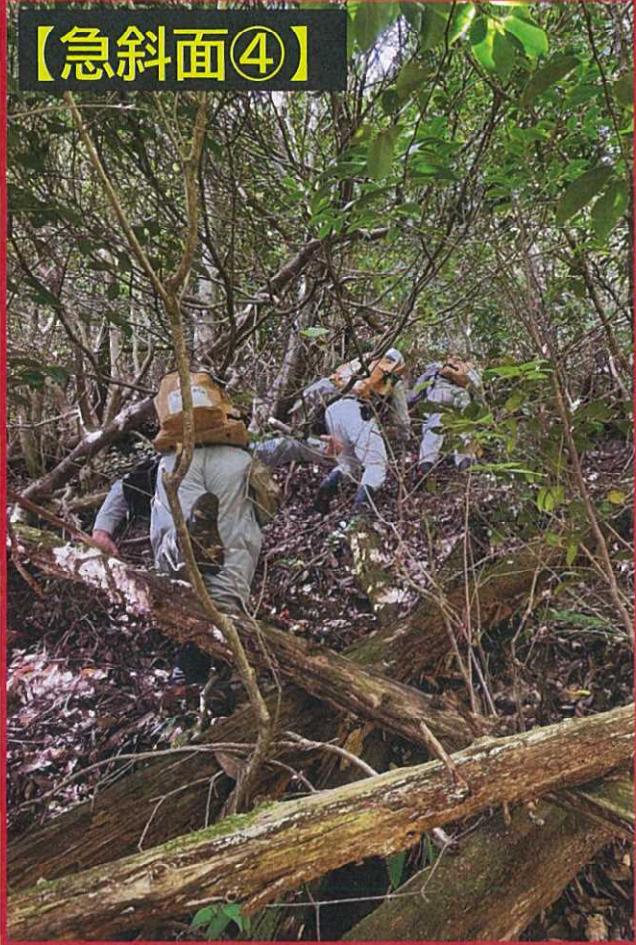
【想定される事故】

- ・長靴で下山中、落ち葉で足が滑り転倒。[対策①:スパイク付きの足袋や長靴を着用する。]
[対策②:杖を使いバランスを取る。]

【急斜面③】



【急斜面④】



【シダの群生・倒木・急斜面】



【シダの群生(高さ約2m)】

【マダニ】



【想定される事故と対策】

- ・シダの中を進行中、蒸し暑さで体調不良(熱中症など)。[対策:適宜休憩し、水分・塩分を補給する。]
- ・視界が悪いシダの中を進行中、他者の杖が顔に当たり切創。[対策:前の人と距離を開けて歩く。]
- ・シダの中を進行後、ダニが足袋や衣服に付着。[対策①:事前に足袋等にダニ用防虫スプレーを散布する。]
[対策②:極力肌を露出しない。]
- ・シダの中を進行中、埃を大量に吸引し、アレルギー性疾患を発症。[対策:マスクを着用する。]
- ・付着したダニが、皮膚に潜り込み、感染症を発症。[対策:下山後は、ダニが付着していないか点検する。]

【苔などで滑りやすい滑石】



【想定される事故】

- ・滑石の上を歩行中、滑って体勢を崩し、転倒。[対策①:危険箇所を迂回する]
[対策②:低い姿勢でゆっくり歩く。]
[対策③:杖を使いバランスを取る。]

【小川の中の浮き石】



【想定される事故】

- ・踏んだ石が動き転倒し、手をついた拍子に手首を骨折。[対策:足や杖で石が動かないか確認する。]
- ・踏んだ石が崩れ、川底へ転落。[対策:浮き石がある場合は、後続者へ声掛けをする。]

【倒木】



【想定される事故】

- ・倒木につまずき転倒。[対策:しっかりと足を上げる。疲れないよう早めに休憩する。]
- ・倒木をまたいだときに、体勢を崩し転倒。[対策:手を使いながら、倒木をまたぐ。]

【鹿柵用ネット①】



【鹿柵用ネット②】



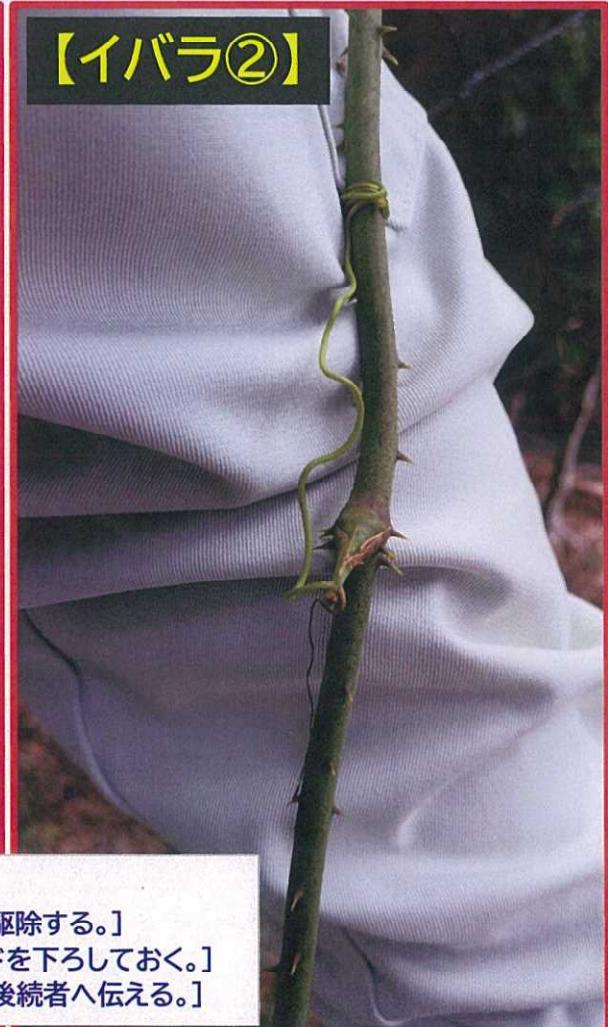
【想定される事故】

- ・鹿柵用ネットに足を取られ、転倒。[対策:鹿柵用ネットから離れて歩く。]
- ・鹿柵用フェンスの鉄線で、腕を切創。[対策:厚めの服を着用する。]

【イバラ①】



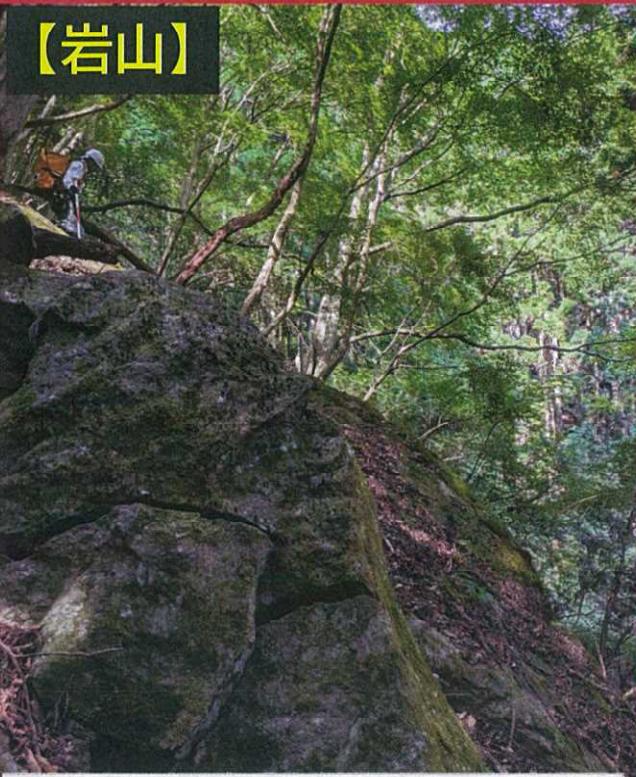
【イバラ②】



【想定される事故】

- ・イバラが体に絡みつき、腕を切創。[対策:なた等で、イバラを駆除する。]
- ・イバラがまぶたに当たり、裂傷。[対策①:ヘルメットのシールドを下ろしておく。]
[対策②:イバラがあることを後続者へ伝える。]

【岩山】



【想定される事故】

・岩盤に足を取られ、滑落。

[対策①：岩盤には近づかず、迂回する。]

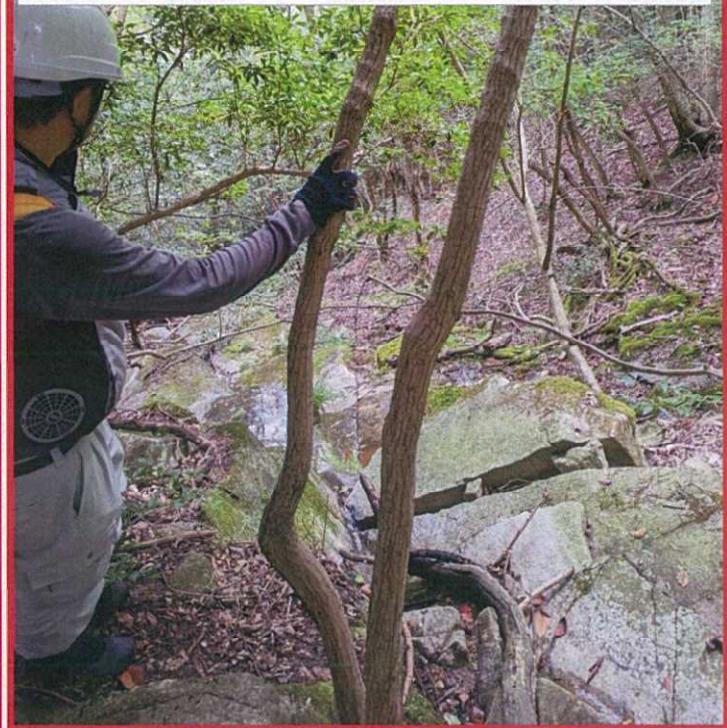
[対策②：安全帯を使用する。]

【落差のある崖】

【想定される事故】

・崖下を覗き込んだ時にバランスを崩し、転落。

[対策：興味本位で、崖ぶちには近づかない。]



【枝の跳ね返り】



【想定される事故】

・枝の跳ね返りで、後続者の目に当たる。

[対策：危険な枝は、なたで取り除いておく。]

【枯木】

【想定される事故】

・持った枯木が折れ、転倒。

[対策：体重をかける前に、枯木かどうかを確認する。]

